

小学校社会科において、自ら学びに向かう児童の育成 —自己決定学習を取り入れて—

実践事例:社会科 小学5年「自動車をつくる工業」

特別研修員 社会 大井 匡之(小学校教諭)

児童の実態

- ・与えられた課題に対して真面目に取り組む児童が多い。
- ・学習に対して受け身な様子が見られる。



手立て1 学びを見通し、蓄積する「学習のすすめ」を活用

「学習のすすめ」に自分で立てた学習問題や学習計画、めあてなどを記入する。

【学習のすすめ】

題名: ■■■
題元名: 自動車をつくる工業(全8時間+テスト1時間)

学習問題: 世界一の自動車生産工場トヨタ社の自動車づくりに携わる人々はよりよい自動車をつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろうか。

学習計画(例) 課題や内容を変更してOKです。

時間	学習活動	使用するワークシート例
1	学習問題を立てる	学習のすすめ
2	ミニレッスン、学習計画を立てる、疑問点を考える	学習のすすめ、ミニレッスン、疑問点フォーム
3	ミニレッスン、自己決定学習①(組み立て工場や関連工場の仕組みや工夫)	学習のすすめ、ミニレッスン、スライド、何してるシート
4	自己決定学習②(輸送や販売と海外生産)	学習のすすめ、スライド、何してるシート
5	自己決定学習③(自動車開発)	学習のすすめ、スライド、何してるシート
6	グループ発表(くふうや努力について)、自己決定学習④(まとめ活動: 未来の自動車)	学習のすすめ、スライド、何してるシート、まとめ活動

一つのシートにまとまっているから、学習問題や今日やるべきことが分かりやすいね。



「学習のすすめ」を参考に児童が調べる資料や内容、誰と学ぶか、どのような活動をするなど、自分で決めて学習に取り組む。

※自己決定学習…自由進度学習を進めていく第一歩として、追究する過程において、児童自身が自己決定しながら学習を進めていくようにした。



「学習のすすめ」にまとめや振り返りを記入し、学習の記録として残す。

組み立て工場には部品を余らせない工夫があることが分かった。次回は、自動車の海外生産について調べてみたい。



【目指す児童像】 自分の意志で行動して学習に主体的に取り組む児童

○成果●課題

- 単元を通して「学習のすすめ」を活用したことで、課題を意識したり学習の見通しをもったりすることができた。
- 自己決定学習を取り入れたことで、学習活動を自分で決めることができたので、一人一人が主体的に取り組み、必要な活動を自分で判断して取り組むことができた。
- 追究する過程において、どこまでどのようにまとめるとよいかなど、目標を明確にすると自分で決めて動きやすくなると感じた。

教師の願い

- ・課題に対して自分の考えをもち、どのように学習を進めていくのか自分で考えて行動してほしい。



手立て2 自ら学びを進める自己決定学習を取り入れる



追究する内容を決める。

今日は組み立て工場の工夫について、調べようかな。

一人で進めるか、友達と一緒に進めるか決める。



みんなの調べたことを合わせて考えてみると、もっと分かりそうだね。

組み立て工場の工夫はいろいろありますね。

どんな工夫を調べられたか交流しようよ。



どんな活動をするのか決める。



お客さんの注文に合わせて作ることが分かったよ。

発表する内容を決める。

組み立て工場では、指示ピラーやロボットの活用などで効率よく作業できることが分かりました。

学習して自分で更に深めたいことを決めて調べる。

タイトル「環境にいい未来自動車」

- 【機能】: 自動運転 : 空を飛べる。
【環境にいい設計】:
・排気ガスを出さないから二酸化炭素排出量を抑えられる。
・リサイクル部品やリサイクル可能な素材など環境負荷を低減した素材を使っている。
・製品寿命の長い自動車部品を使用する。
【安全性が高い】: 自動停止がついている。
【誰もが乗りやすい設計】:
・車椅子の人は車椅子専用の場所がある。
・目や耳が不自由な人にもテレバシーで伝えてくれる。

未来の自動車に興味があつたから、環境や安全性についてデザインも併せて考えました。

